



介護施設で働く魅力を就活生に伝えたい！

経営学部生が「ゆうゆうの里」の採用インスタで発信へ

介護付有料老人ホーム「ゆうゆうの里」が「職場としての魅力を就活生に伝えたい」と経営学部の学生にインスタでの魅力発信を提案。学生たちは施設を訪れて職員と入居者それぞれにインタビューし、動画を作成しました。仮投稿を見た法人側からは「我々も気づかなかった魅力が明らかになった」、学生からは「老人ホームのネガティブなイメージが消え、就職先の選択肢の一つになった」という声も。1月31日から「ゆうゆうの里」の採用 Instagram で画像を投稿、その後、順次動画を投稿する予定です。

「ゆうゆうの里」は一般財団法人日本老人福祉財団（以下、「日本老人福祉財団」）が運営し、全国7か所で展開する介護付有料老人ホーム。自立した生活を送れる人から終末期まで、同じ施設で切れ目なく最適なサービスを提供することで知られ、入居率95%の人気の施設です。入居者からは「ここに入ってよかった」という声が絶えませんが、悩みは働き手不足。とりわけ若い世代への求人や採用をどう展開するかが課題でした。

そこで日本老人福祉財団が「施設の魅力を学生の視点で見つけてほしい」と経営学部の実践学習に提案。SNSでの魅力発信を想定したプロジェクトを立ち上げ、学生6人が昨年11月から取り組んできました。

学生たちは大阪府守口市と神戸市の「ゆうゆうの里」を見学し、入居者や職員にインタビューを実施。インタビューでは入居者から「安心して暮らしています」「ここで第二の人生がスタートしました」、職員から「こんなに感謝してもらえる仕事はない」など双方の明るい声が集まりました。さらに職員からは「月に10日休みがある」「給与が他の施設に比べて高

い」「駅に近くて通いやすい」といった率直な声も。「介護の資格がなければ働けないのでは」という学生の質問には「働きながら資格取得のサポートが受けられる」と、福利厚生の手厚さも。

インタビューの様子は動画に収め、写真と組み合わせて Instagram などの SNS で発信できるよう編集。1月17日に行われたプロジェクト報告会で複数の画像や動画を仮投稿。学生たちは日本老人福祉財団の関係者とともに視聴し、動画やデザインに込めた思いをプレゼンテーションしました。

経営学科2年の赤松真風さんは「介護付有料老人ホームはしんどいイメージがあるし、資格がないと働けないと思って、就職先から除外していました。でも現場はいろいろな職種で成り立っていることが分かり、働く人の様子を見たり、話を聞いたりするうちに、将来の選択肢の一つに入りました」と話していました。

日本老人福祉財団の広報担当者は、「介護施設には介護や福祉だけでなく、マーケティングや広報の視点も必要ですが、なかなか関心を持ってもらえない。若い世代に何が魅力的に映るかを知りたくて、今回のプロジェクトを呼びかけましたが、私たちも気づかないことに着眼し、魅力を引き出してくれた。インスタが就活生に届けばうれしい」と話していました。

この件に関する取材のお申込み、お問い合わせは武庫川女子大学広報室

Tel 0798-45-3533

E-mail kohos@mukogawa-u.ac.jp

へお願いします。

